



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2013 9



8月7日(水)、姫路キャスパホール（姫路市西駅前町）にて、「ピースアクション2013 広島被爆ピアノ平和コンサート」を開催。約370名がつどい、被爆ピアノの音色と平和への願いを込めた歌声で、平和を語り継ぐ想いを新たにしました。（関連記事P.4）



生活協同組合コープこうべ 常務理事  
兵庫県生活協同組合連合会 監事

木田 克也

(きだ・かつや)

## 生協(コープ)のある街

今年6月に開催されました通常総会で監事の役割を務めさせていただきましたこととなりました。

皆さまのご協力をいただきながら兵庫県生協連の健全な発展のお役に立てればと思います。よろしくお願ひします。

かなり以前に耳にした話で、言い回しも正確なものかどうか定かではありませんが「京都で学び 大阪で稼ぎ 神戸に住む」ことが関西人の憧れだというような言葉があったように覚えています。

もちろん、私自身がこのように過ごしてきたわけではありませんから実感としては乏しいのですが、生協で働くようになってから次第に、私たちの目指すべきは「兵庫で暮らす」ことに憧れる人、言い換えれば「兵庫で暮らして良かった」と思える人や地域を創り出していくことにあるのでは？と思うようになってきました。

兵庫で暮らすと心地よい。何故だろうって考えると「そうだ生協があるから」と思う人で溢れる地域って素晴らしいと思いませんか。

具体的には、安心して健康の検査や治療ができる医療、万一の時に支えあうしくみが万全の共済、学生や働く職員の福利厚生や生活の支援、そして、安全安心を疑うことなく買い物ができる宅配や店舗など、これら日常生活に生協が密接に関わり、空気のように生協があることが当たり前で、ふ

と気が付けば生協の利用で生活しているといった街です。

現在、コープこうべでは、社会的課題を解決する事業体としてのトップランナーを目指し、組合員の困りごとを組合員の力を寄せ合って解決する生協という原点に立ち返り、さまざまな改革にチャレンジをしています。

たとえば、生協は組合員のメンバーシップ組織ですから、もつと組合員一人ひとりの願いや思いをきちんと掴みその期待に応えようと、スマホを活用して双方向のコミュニケーションをとる実験を始めました。

また、多く寄せられる組合員の声をより迅速に政策に反映できるようオペレーションの再整備にも取り組もうと考えています。

さらに、今後に向けては宅配や店舗を中心とした既存事業の強化はもちろんですが、組合員の困りごとを解決するといった視点で新たな事業へ取り組むことや次代を創る人材の育成が大切だと考えています。

コープこうべのチャレンジはまだ緒に付いたばかりですが、私たち兵庫県内の生協がそれぞれの特色豊かな活動と事業をすすめ、相互に「助け合い支え合う」連携を強めることで「生協(コープ)のある街」を築いていきたいと願っています。

そして、兵庫発の「生協(コープ)のある街」が近隣地域に、また全国に広がりますよう力を合わせてすすみたいと思います。

## CONTENTS

2. 想点
3. 第2回理事会報告／  
兵協連「第4回労働安全衛生研修・学習会」報告／  
兵協連「第2回生活問題研究会」見学研修 報告
4. 「ピースアクション2013  
広島被爆ピアノ平和コンサート」報告

5. 単協通信 神戸市民生活協同組合／  
姫路市民共済生活協同組合
6. 協同組合のかけ橋
7. 兵庫県のページ
8. 2013年度「兵庫県生協大会」のご案内／  
県連日誌／編集後記

# 2013年度 兵庫県生協連 第2回理事会報告

【開催日時】 2013年8月5日(月) 午後2時58分～4時33分

【開催会場】 兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】 本田会長理事、寺尾副会長理事、三宅専務理事、板崎、高橋、福島、新保伴、大沼、林田、眞田（以上、理事）、金丸、木田（以上、監事）

## 協議事項

- (1) 「兵庫県生協大会」の表彰について
- (2) 第12回兵庫県健康福祉部と兵協連理事会との懇談会について
- (3) 平成26年度兵庫県当初予算編成に当たっての要望書について

## 報告事項

- (1) 「会員生協の概況報告」各出席理事・監事より報告
- (2) 前々回理事会（6/3）～8月上旬までの兵協連行事・活動報告
- (3) 兵庫JCC30周年記念／兵庫におけるポスト国際協同組合年を考える集いについて
- (4) 東日本被災地支援活動申し込み状況について
- (5) 第25回近畿地区生協・行政合同会議の開催について
- (6) 第1回兵協連 監事会 報告
- (7) 兵庫JCC30周年記念／第91回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 報告
- (8) 第30回兵庫JCC委員会 報告
- (9) 2013年度「兵庫県生協大会」について
- (10) 2013年度兵協連主要スケジュールについて

## 兵庫県生協連主催 第4回労働安全衛生研修・学習会を開催

7月26日(金)、兵庫県民会館において、生協の事業・経営という視点から見た職場の労務管理や安全管理、健康管理などについての「労働安全衛生研修・学習会」を開催。10生協から役員17名が参加しました。

「生協で働く職員のための職場の安全と健康確保について」と題して、社会保険労務士・茶園幸子氏にご講演いただき研修・学習会をすすめました。労働災害の起こり方やその特徴、また「ヒヤリハット」や「リスクマ



社会保険労務士・茶園氏



ネジメント」など労働災害に学ぶ防止策や、「過重労働から身を守る」「うつ病の予防」などの健康管理についてもお話いただき、生協職員にとって働きやすい職場環境のありかたについて学習をすすめました。参加者からは、「心のケアの大切さ、予防の大切さがわかりました」「ヒヤリハットを報告しやすい雰囲気、監督者の素早い対応の重要性が認識できました」などの感想が寄せられました。

## 「生活問題研究会」見学研修を開催 ～消費者行政の現状を学ぶ～

7月30日(火)、「生活問題研究会」の今年度のテーマ「消費者行政の現状を知る」に合わせて、生活問題研究会メンバーと事務局計7名で「神戸市生活情報センター」（神戸市中央区）を訪問しました。

神戸市生活情報センター 西谷 寛 所長より、悪徳商法など消費者を取り巻く現状についてのお話や、図書・DVD・専門誌などセンターの展示をご案内いただきました。最近、各世代で増加している消費生活相談は「インターネット関連」。ほかにも「医療費の還付」や「振り込め詐欺」「開運商法」などの悪徳商法も後を絶ちません。生活情報センターでは「商品テスト」や年間12,000件もの神戸市内外の消費者からの「消費生活相談」に応え、安全・安心な暮らしを守るための問題解決へのアドバイスをしています。参加者からは、「相談件数の多さは、市民の信頼度の高さを示していると思いました」「“消費者教育”というとなかなか難しそうですが、子ども向けの書籍やDVDもあって充実していた」「相談員の方も多く、窓口も充実している」「高齢者に対しては、地域コミュニティの中での多くの見守り隊が必要だと感じました」などの意見が寄せられました。





## ピースアクション2013 「広島被爆ピアノ平和コンサート」を開催

兵庫県生協連では、毎年、県内の地域・医療・共済・大学などのさまざまな分野の生協と一緒に、平和の大切さ、尊さをみんなで考え、確かめ合う場としてピースアクションの取り組みを行っています。

2009年・西宮市、2010年・明石市、2011年・神戸市東灘区、2012年・神戸市中央区でそれぞれ開催し、今年で5回目となる「広島被爆ピアノ平和コンサート」を、8月7日(水)、姫路キャスパホール(姫路市)にて開催しました。当日は、定員を超えるご応募をいただいた組合員と出演者、スタッフ、合わせて約370名が参加しました。



ピアノ・中山亮子さん、ソプラノ・大島久美子さん



ピアノ調律師 矢川光則さん

を伝えるために全国各地でコンサートを開いています。

今回演奏された「カズコの被爆ピ

アノ」は、広島市で原爆投下時、爆心地より2.6kmの民家で被爆しました。原爆の爆風により、無数のガラスの破片が突き刺さり傷ついたピアノは、平成21年5月に所有者のカズコさんよりピアノ調律師の矢川光則さんに託され、現在、平和の大切さを伝えるために全

冒頭、兵庫県生協連・三宅専務理事の挨拶のあと、ヤガワ楽器調律センター・ピアノ調律師の矢川光則さんから、2010年ニューヨークでの演奏の映像を背景に、被爆ピアノとの出会いや平和への想いについてのお話をいただきました。矢川さんは「未来の子どもたちは、核兵器の被害を受けることがないように。地球から核兵器が撤去されるように。私のできる平和活動が続けていきたい」と語られました。

続いて、ピアノ・中山亮子さん、ソプラノ・大島久美子さんによる「カズコの被爆ピアノ物語」「被爆ピアノに捧げる曲」「原爆を許すまじ」「アヴェマリア」などの公演がありました。また、休憩時間には会場のみなさまに被爆ピアノを近くでご覧いただき、写真を撮られたり、鍵盤に触



休憩時間には多くの方に被爆ピアノを間近でご覧いただきました



司会をされる姫路医療生協 笹野真由美 理事



会場に平和を願う歌声が響きました

れてみたりと、原爆の熱線を越えて平和を語り継ぐ被爆ピアノを身近に感じていただくことができました。後半は、今年創立50周年を迎えた姫路市児童合唱団のみなさんによる「消えた八月」「世界がひとつになるまで」「あすという日が」「勇気100%」「歌よありがとう」の歌声で、平和へのメッセージを届けました。

続いて、中山さん、大島さんによる演奏と歌声で、「ワルツ 第一番 変ホ長調 作品18 華麗なる大円舞曲」「ギヤッツより「メモリー」「アメーzingグ・グレース」となりのトトロ」。広島出身の大島さんは、「平和」とは、安心して暮らせること。明日を信じていられること。「ありがとう」「ごめんなさい」が、きちんとと言えること、あたりまえのことが積み重ねていけることが幸せだと感じます」と話されました。また最後には、姫路市児童合唱団のみなさん

も参加し、「花は咲く」「ふるさと」を会場全員で歌いました。当日は、司会の笹野真由美さん(姫路医療生協・理事)をはじめ、ピースアクション委員がピアノ搬入から舞台進行、舞台整頓や出演者誘導、入場受付、コンサートを終えることができました。平和を祈り続ける被爆ピアノ。その美しい音色に、会場の参加者からは「毎日を平和に暮らすことの大切さを感じます」「今日一日感じるのではなく、後世に伝えなければいけないと思いました」という声寄せられ、音楽を通して平和への想いをつなぐコンサートになりました。



姫路市児童合唱団のみなさん

## 神戸市民生活協同組合

### 「灘・夢ナリエ」で事業を紹介

7月13日(土)、灘区灘丸山公園内にて、灘・夢ナリエ『さらめく天空、あかりの饗宴』が開催されました。こちらは灘・夢ナリエ実行委員会が主催される催しです。昼間は中学校吹奏楽部や小学校音楽隊による楽器



暑さの中でもがんばる生協職員

演奏や地域同好会によるフラダンスなどのステージを行う他、夜間には盆踊りや行灯あかり・酒瓶あかりなどの展示を行う地域的な催しで、神戸市民生活協は今回が2回目の参加となります。

当日は夏も盛りの晴天で暑い中にもかかわらず、会場はたくさんの方々の参加者の方々にぎわいました。神戸市民生活協も医療共済・火災共済・交通災害共済・子ども共済を紹介した各種パンフレットを配布したほか、同時にうちわやティッシュの配布を行うなど、熱心な広報活動を行いました。

市民の方々からは「暑い中の活動、がんばってください」などの激励をいただきました。神戸市民生活協では、7月より子ども共済にお手頃なコースが誕生しました。今後は子どもたちにも、もつと共済を利用してもらえるように、地域の方々へのPRに励んでいきたいと思えます。

(通信員 鹿田裕子)

## 姫路市民共済生活協同組合

### マックスバリュ2店舗で

### 広報活動を実施!

姫路市民共済生活協では、7月を交通共済のキャンペーン期間(増強月間)としています。

例年、市内の大型ショッピングセンター等でパンフレット配布等の活動を実施してきましたが、今年度は6月30日(日)と7月9日(火)の午前と夕方の2部にわたり、マックスバリュの姫路別所店と東山店で同様の活動を実施しました。当日は、非常に暑い日となりましたが、職員と外務員が共同で積極的に活動することがで

きました。地域の皆様に幅広く当組合の共済を知っていただくために、初めて地元のスーパーマーケットであるマックスバリュ2店舗にご協力いただきました。

買物にいられた方々に市民共済を知っていただいたり、組合員の方々にも市民共済を身近に感じていただけたのではないかと思います。

また、サービスカウンターやサツカー台の上にパンフレットを設置していただいたり、組合ポスターの掲示にもご協力いただいております。期間限定ではございますが、姫路市内の各店舗に來られる際には、探してみたいか? 地域のご協力もいただきながら、今後とも皆様に顔の見える市民共済として事業を行っていききたいと思えます。

(通信員 山本悠人)





# 協同組合のかけ橋

JF

## 兵庫県水産振興基金

### 安全講習会をジャンボフェリー内で開催 ～大型船からの視界や動力性能を体験～

7月10日(水)、国土交通省神戸運輸監理部と系統団体（JF兵庫漁連、共水連兵庫県事務所、兵庫県内海漁船保険組合、ひょうご豊かな海づくり協会、兵庫県水産振興基金）が主催した「安全講習会（命を守る運動）」が大型フェリー船内において開催されました。これはジャンボフェリー



明石海峡をブリッジ内から望む



接岸前は緊張感があります

株の協力を得て実現したもので、神戸発高松行きの船に乗り、船内で意見交換や操舵室（ブリッジ）の見学を行い、大型船からの視点や航海感覚の違い、操船の難しさを体験することで、海上安全に関する理解を深めようという目的で実施されました。

参加した漁業者らは、明石海峡を通過するまでの間、操船方法やレーダーの画像などを間近に見るとともに、担当者から話を聞きました。見学時には、窓から見えている小型船が、レーダーでは映ったり消えたりする状況を目の当たりにし、大型船は海峡付近でかなり注意深く航行されていることが伝わりました。参加者は「想像以上に距離感が違う」と話し、理解を深めていたようです。意見交換では、フェリー側から「どのような漁具で、どのような漁をしているのか。季節や時間も分かれば助かる」とし、他県の漁船に体験乗船し、知識向上に努めている取り組みなどが紹介されました。最後に双方から「お互いに海で仕事をする立場を理解し、協力しあって事故のないように努めたい」との意見が出て、締めくくられました。

系統団体で事務局を努める JF 兵庫漁連によると、この取組みを今後数回に分けて行い、少しでも多くの漁業者に体験してもらいたいとしております。



今回乗船した「りつりんⅡ号」

JA

## JA グループ兵庫

### 県各会通常総会を開催

JA 兵庫中央会、兵庫信連、兵庫厚生連は6月28日、兵庫県農業会館（神戸市）で通常総会を開き、全議案を可決、「TPPに関する特別決議」を採択しました。

中央会の石田正会長は「JAグループとして、食と農、地域社会への貢献を通じて独自の存在感を発揮し、組合員ら利用者の多様なニーズに応えていく必要がある」と出席者に呼び掛けました。

中央会は総会で「TPPに関する特別決議」を提議し、JA兵庫みらいの稲葉洋代表理事組合長が「わが国の国益を守れると確認できるまで、引き続き、国民各層との幅広い連携の下、TPPから食と暮らし・いのちを守る運動を展開するとともに、地域農業を守り発展させる政策の実現に向けて、さらなる要請運動を展開する」と朗読し、満場の拍手で採択されました。

来賓挨拶で井戸敏三兵庫県知事は「兵庫の農業は大消費地に隣接する恵まれた立地条件を生かし農産物のブランド化や特産品の開発、生産者と市場・消費者との連携、担い手づくりなどに取り組むことが重要だ」と述べました。



総会出席者に呼び掛けるJA兵庫中央会の石田会長



最近の消費生活相談事例

## 訪問販売による屋根修理の契約 ～知らない事業者に不安。やはり解約したい～

### 事例

2日前、訪問してきた事業者から「屋根がずれている」といわれ、屋根に上がって見てもらった。以前から屋根に設置してある太陽熱温水器の水漏れが気になっていたことを話すと、「撤去するついでに屋根も直したらどうか。」と言われ、43万円で屋根工事の契約をした。契約時にはクーリング・オフについて記載のある書面を受け取っている。後で考えると、よく知らない事業者に頼むことに不安を感じるので解約したいが可能か。

### 【アドバイス】

事例のように、訪問販売で屋根や水回り、床下のシロアリなどの点検をしてみると自宅に入り、「かなり傷んでいる」などと告げ、商品やサービスなどを契約させる手口を点検商法といいます。訪問販売による契約は、特定商取引法のクーリング・オフ制度の適用があり、規定された事項の記載のある書面を受け取ってから8日間は無条件で契約を解除し、支払った代金の返金を請求できます。クーリング・オフの通知は書面で行います。ハガキに書く場合は両面のコピーをとり、「特定記録郵便」など、発送日の記録が残る方法で送付しましょう。クレジットを利用した場合には、クレジット会社と販売会社へ同時に通知します。

事例の場合は、契約書面を受け取ってから8日以内のためクーリング・オフができますが、8日を過ぎクーリング・オフできない場合でも、事業者が消費者に、商品の価格、性能等に関する重要事項について不実のことを告げる、あるいは故意に事実を告げず、それによって消費者が誤認し契約をした場合には、消費者が契約を取り消すことができます。

クーリング・オフ書面の書き方など、不明な点についてはお近くの消費生活相談窓口にご相談してください。

(兵庫県生活科学総合センター)

# MOVE

2013年度

# 兵庫県生協大会

協同が息づく兵庫のまちづくり／協同組合がよりよい社会を築きます

と き：2013年10月10日(木) 13時～16時30分  
 ところ：兵庫県民会館・9階けんみんホール  
 神戸市中央区下山手通4-16-3 TEL (078) 321-2131

## 第1部

13:00～13:50

### 記念式典

- ◆主催者あいさつ 兵協連会長理事
- ◆来賓あいさつ 兵庫県知事  
神戸市長  
兵庫県議会議長
- ◆来賓紹介
- ◆生協法施行周年記念に係る知事表彰
- ◆生協功労者表彰 県知事感謝  
兵協連会長表彰

## 第2部

14:00～15:40

### 講演

ひとはみんなの為に みんなはひとりの為に  
 明日の子どもたちの笑顔の為に  
 ～スーダン・東日本大震災での活動～

特定非営利活動法人ロシナンテス  
 理事長・医師

川原 尚行 氏



川原氏は、在スーダン日本大使館に一等書記官兼  
 医務官として勤務、そこで内戦やマラリアなどの感  
 染症で多くの国民が苦しむ現状を目の当たりにし、  
 2005年1月に辞職後、同年4月よりスーダンで活動  
 を開始、翌2006年5月にスーダンにおいて医療を中  
 心に活動を行っているNPO法人「ロシナンテス」  
 を設立。また、東日本大震災発生時には、東北へ駆  
 け付け、避難所で巡回診療を行い、その後も宮城県  
 南部を中心に復興支援活動を継続している。  
 今回はスーダンと東北の両方の活動状況をお伝え  
 します。

### 健康チェック

骨密度・体脂肪・血圧測定など

902号室 (12時30分～16時30分)



健康チェックの風景

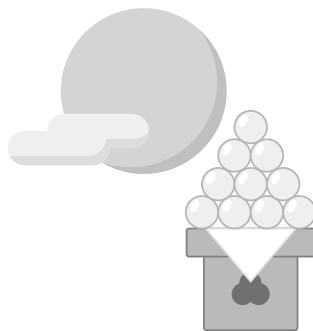
◆定員 360人 ◆入場料 無料(入場整理券が必要です)

●お申し込み・お問い合わせ●

兵庫県生活協同組合連合会(担当:濱田) TEL:078-391-8634 FAX:078-392-2059 主催:兵庫県生活協同組合連合会

### 編集後記

「生活問題研究会」のみなさまと「神戸市生活情報センター」見学研修へ。ネット社会や詐欺などのさまざまなトラブルについて何ったお話では、悪質商法の事例のポイントは、必ず急がせる。こと。誰かに相談したり、考えたりする隙を与えないためとか。開運のために、庭に高額な水晶玉を埋めるといような被害にあっても、自分のトラブルを40%の人は誰にも相談しないそうです。私の運氣上昇の秘訣は「美味しいものを食べて笑顔になる！」こと。今年も「夏バテ」とは無縁のまま、食欲の秋がスタートします。(中尾)



### 県連日誌

- 9月12日(木) 兵協連 第3回生協活動委員会 (県民会館 ばら)
- 9月19日(木) 兵協連 第1回医療生協部会 組織担当者会議 (県民会館 1102)
- 9月20日(金)・21日(土) 兵協連 「東日本被災地支援活動」 (宮城県山元町)